

# 2012年度 変額年金保険(特別勘定)決算のお知らせ

**Grand  
Design**

グランド デザイン

変額個人年金保険I型(年金受取総額および死亡保険金額保証特則付)



- 当資料は、特別勘定の運用状況等を報告するための資料であり、生命保険契約の募集または特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の勧誘を目的とするものではありません。
- この商品は、特別勘定の運用実績に基づいて死亡保険金額、積立金額、解約返戻金額等が日々変動(増減)する変額個人年金保険(生命保険)です。
- 当資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

2013年7月作成



**Gibraltar**  
ジブラルタ生命

# ご契約者のみなさまへ

弊社保険につきまして、日頃よりご愛顧、ご継続をいただき誠にありがとうございます。  
さて、2012年度の決算を終えましたので、特別勘定についての決算概要をご報告申し上げます。

## 1. 市場動向 (2012年4月1日～2013年3月31日)

### 【市場動向】

2012年度の国内債券市場（新発10年国債利回り）は、世界経済の減速懸念や欧州債務問題への警戒感から低下基調で始まりました。その後も米国の“財政の崖”問題などから低金利での推移が続きましたが、年明け以降は日銀新総裁人事を巡る追加緩和期待などから金利低下基調が加速したことで、長期金利は10年ぶりとなる0.5%台で期末を迎えました。

外国債券市場は、米10年物国債利回りが景気の先行き不透明感から7月にかけて低下傾向で推移しました。年後半になると、堅調な住宅市況などを背景に景気の回復期待が高まるとともに11月の米国大統領選挙が、予想通りの結果となり、“財政の崖”問題も回避されたことから、金利は上昇傾向で推移しました。

国内株式市場は、米国経済統計の悪化や欧州債務懸念の拡大から、日経平均株価は年度始の10,083円から6月には8,500円を割る水準まで下落しました。年後半になると、日銀による追加金融緩和期待を背景とした円安ドル高から株価は上昇に転じた後、安倍新政権による成長戦略への期待感から上昇基調を強めたことで、年度末の日経平均株価は12,397円で取引を終えました。

外国株式市場は、米国の“財政の崖”問題などから10月から11月にかけて急落しました。しかし、その後はFRBによるQE3の拡大や、崖回避の期待を受けて上昇基調となりました。3月には米経済指標の改善を背景にNYダウは5年半ぶりに史上最高値を更新し、期末にかけて上昇基調に転じました。

為替市場は、日本政府や日銀による円売り介入への警戒感や米国の追加金融緩和策への思惑から、1ドル80円を挟んだレンジ内での推移が続いた後、安倍自民党総裁が日銀による無制限の金融緩和に言及したことで円安ドル高基調へ転じると、終始円安基調で推移し、年度末のドル円相場は、1ドル94円台となりました。

### 【主な市場の動向】

	日経平均株価 (円)	10年国債利回り (日本)	NYダウ平均株価 (US\$)	10年国債利回り (米国)	ドル円相場	ユーロ円相場
2012年3月末	10083.56	0.985%	13212.04	2.21%	82.19	109.80
2013年3月末	12397.91	0.560%	14578.54	1.85%	94.05	120.73
変化率	23.0%	0.43%低下	10.3%	0.36%低下	14.4%	10.0%

## 2. 保有契約高

区分	件数	金額 (万円)
変額個人年金保険 I 型 (年金受取総額および死亡保険金額保証特則付)	24	4,600

## 3. ユニットバリューと運用利回りの推移

	ユニットバリュー	運用利回り
2012年3月末	90.6662	
2012年4月末	87.4926	-3.50%
2012年5月末	83.3646	-8.05%
2012年6月末	86.8582	-4.20%
2012年7月末	84.7851	-6.49%
2012年8月末	84.6691	-6.61%
2012年9月末	85.3811	-5.83%
2012年10月末	85.9981	-5.15%
2012年11月末	88.3299	-2.58%
2012年12月末	94.0906	+3.78%
2013年1月末	97.0994	+7.10%
2013年2月末	99.6767	+9.94%
2013年3月末	101.4365	+11.88%

(注) ユニットバリューとは、会社としての運用開始時を100として持分1口あたりの価値を意味します。  
運用利回りはユニットバリューの2012年3月末からの伸び率を記載しております。

## 4. 資産の内訳

区分	金額	構成比
現預金・コールローン	329	0.5
その他の有価証券	63,226	99.3
その他	112	0.2
合計	63,668	100.0

## 5. 運用収支状況 (2012年4月1日～2013年3月31日)

項目	金額
利息配当金収入	159
有価証券評価益	7,757
その他の収益	—
有価証券評価損	1,208
その他の費用	7
収支差計	6,700

## 6. 特別勘定の運用状況 (特別勘定名) 国内バランス50

### ■運用方針

当特別勘定資産の運用は、主として「プルデンシャル私募国内株式・債券バランスファンド (適格機関投資家向け)」(運用会社：プルデンシャル・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社) に投資することにより行います。

### ■運用内容

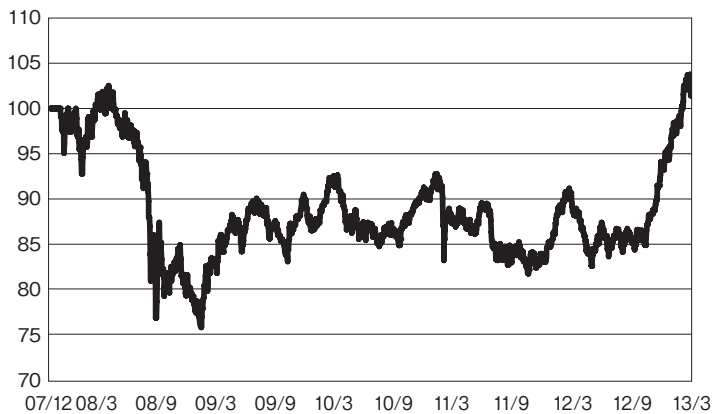
特別勘定への資金の流入に合わせ、上記投資信託の組入れ比率を高水準に保つ運用を行いました。

当年度末の投資信託の組入れ比率は99.5%です。

当年度末のユニットバリューは101.4365となっております。また、設定来のユニットバリュー騰落率は+1.44%となりました。

※投資信託の組入れ比率は、投資信託の買付・解約により発生する未払金・未収金を調整した実質的な投資信託の比率であり、特別勘定資産合計に対する構成比率とは異なります。

### ■ユニットバリューの推移と運用利回り



設定日：2007年12月10日

	ユニットバリュー	運用利回り
2012年3月末	90.6662	
2012年4月末	87.4926	-3.50%
2012年5月末	83.3646	-8.05%
2012年6月末	86.8582	-4.20%
2012年7月末	84.7851	-6.49%
2012年8月末	84.6691	-6.61%
2012年9月末	85.3811	-5.83%
2012年10月末	85.9981	-5.15%
2012年11月末	88.3299	-2.58%
2012年12月末	94.0906	+3.78%
2013年1月末	97.0994	+7.10%
2013年2月末	99.6767	+9.94%
2013年3月末	101.4365	+11.88%

(注) 運用利回りはユニットバリューの2012年3月末からの伸び率を記載しております。

(単位：千円)

### ■保有有価証券の明細

銘柄名	種別	時価額
プルデンシャル私募国内株式・債券バランスファンド (適格機関投資家向け)	投資信託	63,226

ご契約に関する  
ご照会は  
コールセンターまで

 **コールセンター** フリーダイヤル  **0120-59-2269** ジブロック

**受付時間** 平日8:30～20:00 / 土曜9:00～17:00 (日・祝・12/31～1/3を除く)